

避難指示解除に関する有識者検証委員会のこれまでの経過

回	テーマ	参加された町民代表	いただいた主なご意見
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会発足 ・委員委嘱、検証・評価 ・の進め方及び項目の確認 	—	—
第2回	<p>検証・評価① ～除染・現地視察～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染計画 ・除染廃棄物の処理 ・除染による放射線量の低下 ・自然環境の回復 	<p>行政区長会の理事（5名） 佐藤区長（権現堂） 清水区長（高瀬） 原中区長（大堀） 千田区長（苅野） 高橋区長（津島）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最低限のインフラと銀行ATMや郵便局のポスト、医療介護施設があれば私はぜひ戻りたい。 ●除染工事の際、環境省には極力作業を監督してもらいたい。 ●大柿ダムの底質除去は是非やっていただきたい。 ●帰還困難区域の除染開始及び帰町可能時期のスケジュールを出してほしい。
第3回	<p>検証・評価② ～インフラ復旧～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の復旧状況 ・上下水道の復旧状況 ・電気・電話・ガスの復旧状況 ・役場、警察署、消防署の復旧 ・災害公営住宅の整備状況 	<p>仮設住宅・借上住宅自治会の会長（6名） 旧平石小学校仮設住宅自治会 天野会長 大野台第8仮設住宅自治会 小松会長 なみえ絆いわき会 大波会長 福島市なみえ会 大江会長 なみえ相双会 根岸会長 郡山コスモス会 牛来会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●いこいの村なみえに宿泊しながら自宅の手入れをしたい。 ●準備宿泊しながら家の手入れを行ないたい。 ●交通手段として常磐線が期待できないのであれば、代替バスを考えていくべき。 ●帰還の最低条件は「水」と「交通手段」 ●平成29年3月の帰還に向けて、除染の効果に関するPRを行ってほしい。

避難指示解除に関する有識者検証委員会のこれまでの経過

回	テーマ	参加された町民代表	いただいた主なご意見
第4回	<p>検証・評価③ ～生活環境整備～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の復旧 ・医療・福祉等の復旧状況 ・商業施設の復旧 ・生活関連サービス ・事業再開 	<p>町内団体から推薦いただいた町民（5名） 浪江町商工会 原田会長 相馬双葉漁協（請戸）高野理事 室原川・高瀬川漁協 菅野事務局長 大堀相馬焼協同組合 福祉事業所コーヒータイム 橋本代表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一日も早く請戸に接岸できる状況を県・国にぜひお願いしたい。 ●親魚・稚魚の販売ができない状況なので、資金の援助をお願いしたい。 ●川底の除染、河川の除染を強くお願いしたい。 ●農業従事者の意欲が出るような手厚い補助制度をお願いしたい。 ●浪江に戻り、障がい者の方々と浪江の未来を創っていきたい。
第5回	<p>検証・評価④ ～防災対策～ （町内現地視察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の状況 ・水道施設の視察 	<p>町内で活動する町民及び復興計画等の策定にかかわられた町民（8名） 川村博様（幾世橋）、石井絹江様（津島）、柴孝一様（請戸）、金澤文隆様（浪江）、戸川聡様（苅野）、近藤京子様（大堀）、朝田英洋様（浪江）、佐藤博美様（幾世橋）</p>	
第6回	検証結果取りまとめ		